

パブリックコメント及び対応等

| No. | 該当箇所 (ページなど) | ご意見等の内容 | 対応等 | 属性 |
|-----|---------------------------------------|--|--|-----------|
| 1 | 序論 12頁 | アンケートで住みやすいと思う理由として3点記載されていますが、二小校区の「住みにくい」と思う理由が記されていません。他の校区と比較して、その割合が突出して高くなっていますので、住みにくい点を明らかにして対策を講じていくことが重要ではないかと考えます。 | 地域未来構想本編でのアンケート結果のため、本文中の修正等はありませんが、本計画は地域未来構想を踏まえた上で策定します。住みやすさの理由に、他校区との違いが見られますので、ご意見を参考にさせていただきます。 | 60代 男性 |
| 2 | 序論 13頁 | 町の人口が9,000人を割り込み、中学生へのアンケート結果では25%の子どもが将来の町外への転出を回答し、企業従事者の63%が町外居住者という現状から人口減少はさらに進むと思われる。ワークショップで出た町の課題において、移住定住・Uターン促進が挙げられているが、これらだけでは若い世代の流出対策にならないと思う。 | 地域未来構想本編ワークショップで出たまちづくりの課題の整理を行っているページですので、修正は行えませんが、人口減少の課題は総合振興計画、住んでよかったプロジェクト、まち・ひと・しごと総合戦略等により、町の重要課題として取り組んでいきます。 | 60代 男性 |
| 3 | 誰にでもどんなときにもやさしいまちづくり政策1福祉の充実(福祉課) 43頁 | ユニバーサルデザインについて、目標値が小さいのではないかと、現状から見ても環境は不足していると考えますが、今後の取り組みとしてより具体的に整備していくためにもこの分野の専門家から指導を受ける取り組みを実施していくことが重要と考 | 町では、地域ぐるみで高齢者や障がいがある方などを支えていくという取り組みを行っております。これは主にソフト事業として、国が推奨しております「地域共生社会」の実現の取り組みです。この取り組みをさらに進め、今後の周知・浸透までの時間を考え目標値を設定しています。ご意見を踏まえ、住民の皆様が暮らしやすい環境を整備していけるよう努めます。 | 60代 男性 |

| | | | | |
|---|---|--|--|-----------|
| | | えます。まず、役場庁舎を核としたコンパクトシティ構想のなかに取り入れてはどうかと考えます。 | | |
| 4 | 誰にでもどんなときにもやさしいまちづくり 政策3医療の充実 (健康推進課) 45 頁 | 健康寿命の目標設定に根拠はあるのでしょうか | 健康年齢とは、「日常的に介護などを必要とすることなく、自立した生活が送れている年数」のことを言います。 平成 30 年度から令和3年度にかけて、健康寿命は女性で 0.7 歳、男性で 2.4 歳延びています。4年で 0.5 歳、8年で 1 歳、健康寿命を延伸することを前期計画では目的とし、後期計画に必要であれば見直す計画としています。 なお、平均寿命は、令和4年度で町:男性 84.2 歳、女性 88.4 歳となっています。この KPI は、健康寿命と平均寿命の開きを5年程度の年数差とすることを目指しています。 | 60代 男性 |
| 5 | 誰にでもどんなときにもやさしいまちづくり 政策3医療の充実 (健康推進課) 46 頁 | 主な取組みの「通いの場」とはどういう場所でしょうか。 | 注釈を入れて対応します。 ※高齢者の通いの場とは・・・元気づくりクラブ、地域サロンなど、高齢者の方々が日常的にお住いの地域で、地域の方とふれあうことのできる場 | 60代 男性 |
| 6 | 緑豊かな環境と共生するまちづくり 政策1自然環境の保全 (税務住民課) (まちづくり課) 47 頁 | 主な取組にある啓発とともに広報も必要かと考えます。 水質の良さを実感できる蛍の群生地は環境にも観光にもアピールできる資源だと思います。小学生等にも学習を通じて故郷の素晴らしさを感じられると思います。 蛍の見られる時期に SNS 等で発生状況などを日々紹介してはいかがかと思ひます。 | 蛍の発生状況などを、SNS 等により情報発信を行い、観光誘致に繋がっていきたいと考えます。 | 50代 男性 |

| | | | | |
|----|--|---|--|-----------|
| 7 | 緑豊かな環境と共生するまちづくり 政策 2 循環型社会への適応 (税務住民課) 47 頁 | 現状と課題に、3R と記載あるが、4R,5R といった記載までは必要ないか。 | これまでは経済産業省政策に準じ 3R として推進してきましたが、循環型社会へ向けた取組みをより推進するため、5R として推進していきたいと考えます。 併せて、計画本文の現状と課題の記述を「なお一層の3R(リデュース、リユース、リサイクル)推進等」から「これまでの 3R の取組に加え、リフューズ(断る)、リペアー(直す)の推進等」に修正します。 | |
| 8 | 緑豊かな環境と共生するまちづくり 政策 2 循環型社会への適応 (税務住民課) 52 頁 | 廃食油の回収量の増量をねらって、月々の目標量、現在の達成率等を広報することで町民の協力意欲を促してみたいかと思えます。 | 町内では、すでにごみ収集車両においてバイオディーゼル燃料を利用していますが、今後は県内における使用車両等についても共有していきたいと考えています。 廃食油回収量の目標共有に関しては、町広報誌により回収の方法・場所や利用先を周知していますが、併せて回収量も共有していきます。 なお、参考までに一般車両等への廃食油利用の促進は、車両のメーカー保証等が受けられない可能性があることが課題となっています。 | 50代 男性 |
| 9 | 緑豊かな環境と共生するまちづくり 政策2循環型社会への適応 (税務住民課) 53 頁 | KPI の目標設定に関して、不法投棄は犯罪であり、不法投棄0を目標にすべきではないか。 | 不法投棄行為は本来あってはならない行為ですが、住民以外の方の行為がほとんどであることから、達成可能な数値目標を設定しています。 | 60代 男性 |
| 10 | 緑豊かな環境と共生するまちづくり 政策2循環型社会への適応 (税務住民課) 53 頁 | KPI の目標の町民の取り組み度と記載してありますが、分子、分母はどういった数値ですか。 | 分母は各世帯数、分子は取組世帯数です。 併せて、計画本文の KPI の指標名を「温室効果ガス排出抑制への町民の取り組み度(%)」から「温室効果ガス排出抑制へ取り組む世帯の割合(%)」と文言を修正します。 | 60代 男性 |

| | | | | |
|----|---|--|---|-----------|
| 11 | 産業が盛んな元気のあるまちづくり 政策1 農業の振興 (経済課) 64 頁 | KPI がイノシシの捕獲頭数と掲げているが、有害鳥獣を増やさない取組みの記述が少ない。危機意識があるのか疑問に感じる。増やさない取組みこそ必要ではないか。 | 計画本文中の主な指標(KPI)の指標に、「地域ぐるみ活動(集落)」を追加し、有害鳥獣を増やさない取組みの指標とします。また、主な取組みに「えづけSTOP事業の活用」「国庫事業による地域ぐるみの活動」を追記します。 | 60代 男性 |
| 12 | 産業が盛んな元気のあるまちづくり 政策1 農業の振興 (経済課) 64 頁 | 侵入防止対策や捕獲に加え、集落での生息環境管理を行う団体を育成してほしい。また、主な指標(KPI)に、集落での生息環境管理を行う団体数を加えてほしい。 有害鳥獣による被害額の集計は、農協共済だけで行うと実態とかけ離れた数値になるため、畑作(かぼちゃ、芋類等)含め、独自に把握する仕組みを確立してほしい。 | R1~R3 えづけ STOP 事業を活用(よなだ集落) 被害額の集計については、過去2回アンケート調査を実施。回収率が低く、家庭菜園などを含めた実態把握は非常に困難な状況にある。今後は、各農業団体への調査を基本に実施し実態把握に努めます。 | 60代 男性 |
| 13 | 産業が盛んな元気のあるまちづくり 政策1 農業の振興 (経済課) 64 頁 | 農家の事業承継に力を入れてほしい。 事業承継の説明会、相談窓口やリタイア農家と農業を志す若者とのマッチングする事業などを推進してほしい。 主な指標(KPI)に事業承継件数を加えたらどうでしょうか。 | 県では「くまもと農業継承支援センター」を設立し、マッチングや専門家による継承のサポートを実施しています。その取組みの中で市町村通じ担い手に継承支援アンケートを実施しており、親族での後継者がおらず、第三者継承の検討をされる方に対応している状況で、本町においても現在3名の方への対応実施しており、現所有者の農業機械・施設、農地、技術、販路等を資産として継承するため、継続的に協議を行っているところです。 上記センターが令和3年度に設立されたものの実績として非常に厳しい状況であることも踏まえ、現在のところ本町の主な指標(KPI)への記載は見送っている状況です。 | 60代 男性 |

| | | | | |
|----|--|--|---|-----------|
| 14 | 産業が盛んな元気のあるまちづくり 政策3製造業・工業の振興 (まちづくり課) 67頁 | 新規企業誘致数としてあるのに増設延べ数をカウントするのは非常に違和感があります。 | 施策として「新規企業の誘致」としておりますので、ご指摘のとおり、本来は、新たに進出した企業数とすべきところですが、現在事業をされている企業の増設につきましても、進出企業と同様に事業の拡大及び雇用の増加も図られますので、KPI の指標名のみ、「企業誘致数(新設・増設延べ数)」と表記を変更させていただきます。。 | 50代 男性 |
| 15 | 産業が盛んな元気のあるまちづくり 政策3製造業・工業の振興 (まちづくり課) 67頁 | TSMC の熊本工場新設に伴い、系列会社や参入会社等の新規進出が見込まれるところです。このような巨大な企業が進出する機会はないと思います。このチャンスをどうか生かしていただきたい。 | TSMC 関連企業のみならず、企業立地の適地調査を行い、企業進出の推進に努めます。 | 60代 男性 |
| 16 | 産業が盛んな元気のあるまちづくり 政策3製造業・工業の振興 (まちづくり課) 67頁 | 町は1年間で約 200 人人口減少しています。これが10年続いたらどうなるでしょう。最近では銀行が1つ撤退しました。人口減少が進めば、銀行・スーパー・病院・バスがなくなり、益々生活が不便になり町外への転出増となります。中学校では生徒数が減り、各部活動も十分できません。人口減少に歯止めをかけるには企業誘致しかないと思います。TSMCの進出で関連企業の進出が殺到しているようで、千載一遇のチャンスです。用地が足りなければ新たな工業団地を造るべきです。町内に企業従事者が住んでもらうために、公営住宅の建設や引っ越し費用の補助 | 新たな工業団地の整備につきましては、多額の財政負担を伴いますので、町が工業団地を整備するという事は、現在考えていませんが、企業立地の適地調査を行うことで、新たな企業の進出につなげていきたいと思います。また、定住の促進を図るため、住んでよかったプロジェクト推進事業を推進し、住宅のリフォームへの支援や増加傾向にある空家の活用などを進めてまいります。 | 70代 男性 |

| | | | | |
|----|--|--|---|------------|
| | | 金、教育環境の整備などを行い活力のある町にしてほしい。今の小中高生が夢と希望を持っていけるような町にしていきたいと思います。 | | |
| 17 | 産業が盛んな元気のあるまちづくり 政策3 製造業・工業の振興 (まちづくり課) 67 頁 | 町民・地域が出来ることに、町内の企業で働くを追加できませんか。基本的には雇用・就業が地域の 1 番の応援と思います。 | 計画ページの町民・地域が出来ることに「町内の企業で働くこと」を追加します。 | 40 代 男性 |
| 18 | 産業が盛んな元気のあるまちづくり 政策3 製造業・工業の振興 (まちづくり課) 67 頁 | 企業誘致や起業支援を進めるのは当然必要だが、現状でも相当数のある町内企業で従事者 6 割が町外というのはもったいない。ただ、近隣自治体も同様に人口減少を抑制しようとする中、相当な移住メリットを感じないと難しいのではないか。それよりもまず、若い人たちが町内の企業で働いてもらうような活動をした方が良く思う。「南関町内の企業を知ること」が重要ではないだろうか。これを若い人達に対して実践していくのが良いと思う。私の子どもも企業訪問で訪れるいくつかの会社しか知らない。小中高生に対する町内企業の案内やプレゼン、企業訪問 | 町内の企業を知っていただくことは、若者の就職先の選択肢を広げるだけでなく、進学などで南関町を一度離れた方が、将来南関町に戻ってくるきっかけになると考えます。 雇用の確保につきましては苦慮されている企業もあり、企業説明会や職場体験などにより企業の周知を図っていきたいと思います。 | 60 代 男性 |

| | | | | |
|----|--|--|--|-----------|
| | | などを企業・学校・行政がタッグを組んで定期的実施し、「こんな企業が南関にあるんだったら将来も地元に住んで働きたい」と思ってもらえるようになって欲しいと強く願う | | |
| 19 | 産業が盛んな元気のあるまちづくり 政策5 観光の振興 (まちづくり課) 70 頁 | <p>観光資源、観光メニューの開発は大変重要なものだと思います。移住の前にまず環境であったり景観に魅了されたり、その土地に関心を持つきっかけがなければ選択肢とはなり得ないかと。人がわざわざ立ち寄る場所、観光拠点(景観)の整備・開発に注力すべきと考えます。(嵯峨野の竹林の道のような、竹林等を観光資源・観光資源として活用できないものかと思います。)</p> <p>観光ルート開発として、コロナ禍以前からロードバイクのサイクリストをよく見かけるようになり、隣町の和水町や山鹿市等はサイクリングマップを発行してあります。ただサイクリストは100 kmを優に超える距離を走行しますので、近隣市町との連携でコース開発をされてはいいかかと思っています。</p> <p>コロナ禍以降キャンピングカーの利用者が増えています。そういった車</p> | <p>新型コロナウイルス感染の収束による観光客の増加に対応するため、本年度、町の特産品や町内のお店など南関町の魅力を多くの方に発信し、南関町を楽しんでもらうために多言語対応音声ガイドシステムの導入を進めています。また、現在、旧石井家住宅の保存活用及び地域おこし協力隊によるフットパスのコースの作成などを進め観光の振興を進めています。</p> <p>町の活性化を図るために、多くの方に南関町を知っていただき、また、南関町に来ていただくために、いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p> | 50代 男性 |

| | | | | |
|----|---|--|---|-------------------|
| | | <p>輻が駐車・車中泊できる場所があれば南関に立ち寄るきっかけにならないかと思います。</p> | | |
| 20 | <p>ゆとりある住環境のまちづくり 政策3安心・安全なまちづくり (総務課) 75 頁</p> | <p>政策の基本方針の3, 安心・安全なまちづくりで、突然出てきているように見え、現状と課題にも記載がありません。</p> | <p>安心・安全なまちづくりは最重要課題の一つと認識しております。内容について、今一度精査し、加筆・修正いたします。</p> | <p>60代 男性</p> |
| 21 | <p>ゆとりある住環境のまちづくり 政策3安心・安全なまちづくり (総務課) 78 頁</p> | <p>コロナ禍により失われたコミュニティの再建は最重要課題かと考えます。手厚い各種団体の活動支援を切に望みます。地域防災・コミュニティの中核を担う消防団員が減少の一途をたどり存続が危ぶまれております。自主防災組織の確立と消防団退団者の人的資源の活用が急務かと考えます。 防犯につきまして、種々の制約があることと存じますが、防犯カメラや防犯灯等の適切な設置が必要と考えます。</p> | <p>ご指摘のとおり、地域コミュニティの再建は重要な課題と認識しております。消防団や自主防災組織をはじめ、各種団体の活動状況を踏まえ、できる限りの支援を行いたいと思います。また、防犯についても、防犯灯の設置や必要に応じ防犯カメラ等の設置にも努めてまいります。</p> | <p>50代 男性</p> |

| | | | | |
|----|---|--|--|-----------|
| 22 | 共に学びあえるまちづくり 政策 2 社会教育の充実 (教育課) 83 頁 | 町民・地域ができることの4つ目カッコ内の取組みに子ども会を付け加えてはどうでしょうか。 | 地域で子どもを育てる取組みを行っておられる任意団体はご記載の「子ども会」を含め、数多くの団体がおられますので、地域学校協働活動等と、等で表現を統一させて頂いております。 | 50代 女性 |
| 23 | 共に学びあえるまちづくり 政策1学校教育の充実 主要施策3たくましい心身の育成 (教育課) 84 頁 | 3たくましい心身の育成の取組み方針の文章中、「実践的態度を育てる食育」とあるが、どのような意味か説明をお願いします。 | 食育の視点には、食事の重要性や心身の健康のほか、感謝の心、社会性などがあり、これらのことを学校給食等により育成することを目標としています。また、日常の生活において、食生活習慣を確立させ、食生活と健康についての理解を深めさせ、自ら見つけた生活上の問題点に気づき解決していく態度を育てていくこと、感謝の心を育成していくこととしています。 併せて、本文中の「望ましい食と健康への知識や実践的態度」を「望ましい食と健康への知識やその知識を実践する行動」に修正します。 | 60代 男性 |
| 24 | 共に学びあえるまちづくり 政策1学校教育の充実 (教育課) 85 頁 | 下坂下地区の内田川通学路の草刈りをしっかりとしてほしい。 | 通学路において、雑草が伸びると防犯面でも気になるところです。町では、住民と行政が互いに協力し合いながら協働のまちづくりを推進するため、住民自らが実践する活動に対し、住民自治の活性化を図ることを目的とし、行政区等が実施する事業を推進しています。 その一つとして「町道等環境整備補助金要綱」においては、河川敷地の清掃草刈り活動に対して補助金による支援をしているところです。 通学路に対し、町がすべてを対処できるとは限りません。地域のみなさんのご協力が必用です。 | 70代 男性 |

| | | | | |
|----|--|---|--|-----------|
| 25 | 共に学びあえるまちづくり 政策 3 社会体育の充実 (教育課) 88 頁 | 日頃の運動を習慣づけさせるよう、A-life さんが行っていた「ぐるっとなんかん」のようなウォーキングイベントを継続・定期的で開催してはと思います。アプリを活用すれば利用しやすいとは思いますが、歩行距離・ポイントの積算またはスタンプラリー形式により、その成果に対し町特産品等景品交換などがあると運動意欲が湧くかと思えます。 | 本ご意見については、A-lifeなんかんへ情報を提供させていただくとともに、町としてもウォーキングイベントを充実させていきたいと考えます。 また、運動意欲が増加する仕掛けとして、よいアイデアであると思います。運動の習慣化、生涯スポーツの発展や活動の充実に向け、参考とさせていただきます。 | 50代 男性 |
| 26 | 全体 | 「町民・地域が出来ること」はもっと踏み込んで良いと思います。出来ることで地域参加を促し、郷土愛や生きがいになる場合もあります。まずは、協力できる人になるように、全分野において啓発・周知はとても大事なことだと思います。町の特産品の最大のセールスマンは町民と関わる人々で、農業施策での取組みに啓発はセットで必要と思います。 | 各所属長に共有させていただき、事業の周知・啓発を促します。 また、パブリックコメントは振興計画審議会の他、議会・町全職員へ共有させていただきます。 | 40代 男性 |

※パブリックコメント 9 名 26 件(40 代男性 1 名、50 代男性 1 名女性 1 名・60 代男性 4 名、70 代男性 2 名)